

CO₂排出量削減効果と燃費削減効果（3,000台導入時）

東京電力の業務用車両3,000台をEVに置き換えた場合

1. CO₂排出量削減効果 約2,586 t-CO₂ /年

<参考> 1台あたりの年間削減量：約0.862 t-CO₂（年間走行距離10,000km）

一般家庭約470世帯が年間に排出するCO₂排出量に相当

2. 燃費削減効果 約1.7億円 /年

<参考> 1台あたりの年間削減量：約5.7万円（年間走行距離10,000km）

<計算前提>

燃費：軽自動車18.8km/L（「社団法人 全国軽自動車協会連合会」ホームページより）

EV：10km/kWh（本共同開発による目標値）

CO₂排出原単位：ガソリン2.32kg-CO₂ /L（環境省地球環境局「地球温暖化対策の推進に関する法律施行令」より）

電気：0.372kg-CO₂ /kWh（東京電力における2005年度のCO₂排出原単位実績）

ガソリン料金：128円/L（財団法人日本エネルギー経済研究所 石油情報センター）（給油所石油製品市況調査における関東圏の数値、消費税を含む）より（2007年2月10日現在）

電気料金：10.90円/kWh（「電気需給約款」供給電圧6kV・契約電力500kW未満、業務用電力「10月1日から翌年の6月30日までの期間」料金による。（基本料金は含まない。消費税を含む））

一般家庭一世帯あたりの年間のCO₂排出量（2004年度）：5.5t（国立環境研究所 地球環境研究センター温室効果ガスインベントリオフィス「温室効果ガス排出量・吸気量データベース」より）